自衛官ってどんな人達？

航空自衛隊の役割

航空自衛隊は、航空機などによる侵略に対して、主として空において行動し、わが国の防衛にあたります。

また、平時から警戒監視態勢をとり、侵略を未然に防止しています。さらに、災害発生時の捜索救難などのほか、国際平和協力活動等においては、航空機による人員、物資等の輸送を行います。

航空自衛隊の機能

航空自衛隊は、任務達成のために航空総隊、航空支援集団、航空教育集団、航空開発実験集団、補給本部の５つの機能別組織に分かれています。

このうち航空総隊が主たる防空機能を有しており、主な部隊には「戦闘機部隊」「警戒管制部隊」「高射部隊」があります。

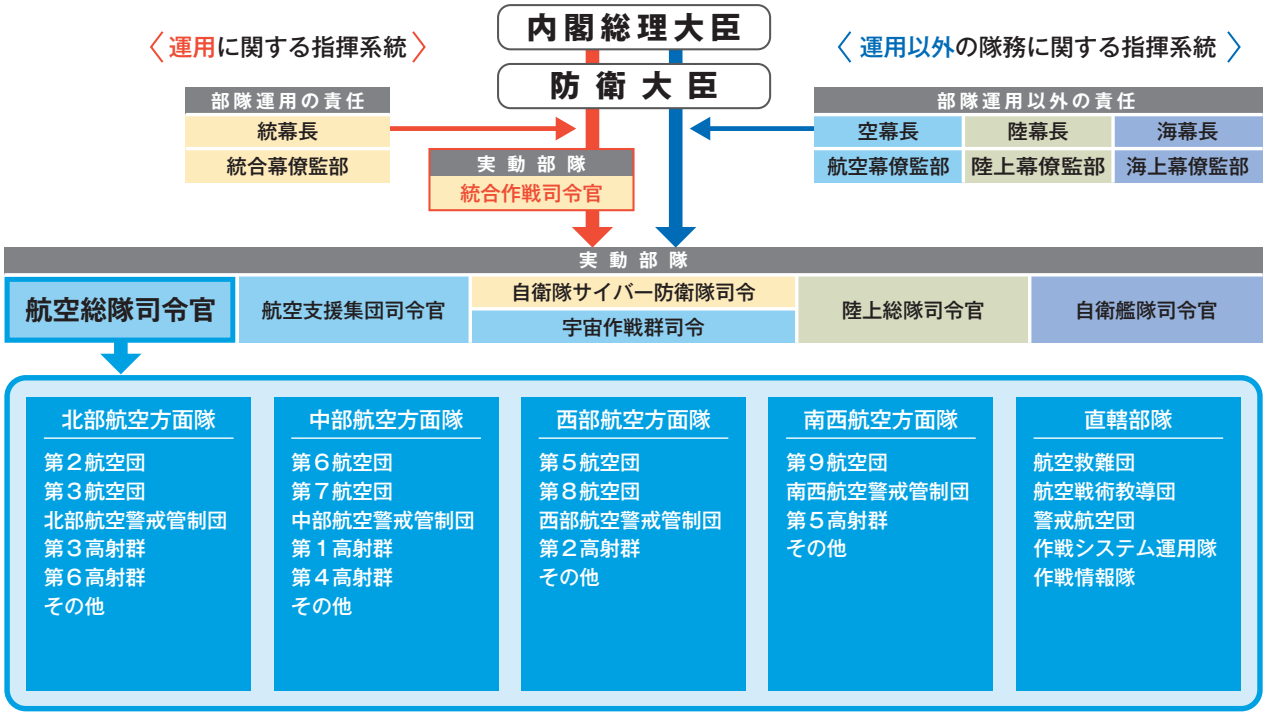
航空総隊の任務

防衛省・自衛隊ホームページより

航空総隊は、警戒管制レーダーや早期警戒管制機（AWACS）などによりわが国周辺を常時警戒監視し、領空侵犯のおそれのある航空機を発見した場合、スクランブル機を発進させ状況を確認し領空を侵犯させないための行動をとっています。さらに戦闘機は、着上陸侵攻しようとする艦船や地上部隊の阻止などにも用いられます。

また、自動警戒管制システム（JADGE）により、イージス艦（上層迎撃）とペトリオットPAC-３（下層迎撃）を連携して効果的に弾道ミサイル攻撃などに対応するための多層防衛を基本とした弾道ミサイル防衛態勢をとっています。

他に、救難機による事故航空機の搭乗員の捜索救助、航空支援集団の任務を実施しています。



小松基地

航空自衛隊小松基地は、石川県小松市に位置する日本海側唯一の戦闘航空団基地として、第６航空団をはじめとする各部隊が所在し、常に即応態勢を維持し、領空侵犯のおそれがある航空機に対する緊急発進（スクランブル）など、我が国の領空を守る任務を遂行しています。

所属部隊

第6航空団司令部 DW26取材部隊

第6航空団飛行群

- 飛行群本部
- 第303飛行隊

第306飛行隊 DW26取材部隊

第6航空団整備補給群

- 整補群群本部

第1整備隊 DW26取材部隊

第2整備隊 DW26取材部隊

- 装備隊

修理隊 DW26取材部隊

車両器材隊 DW26取材部隊

補給隊 DW26取材部隊

第6航空団基地業務群

基地業務群本部 DW26取材部隊

第6基地防空隊 DW26取材部隊

- 飛行場勤務隊
- 施設隊
- サイバー運用隊
- 管理隊
- 業務隊
- 会計隊

衛生隊 DW26取材部隊

基地所在部隊

- 中部航空施設隊第2作業隊
- 小松救難隊
- 飛行教導群
- 小松管制隊
- 小松気象隊
- 小松情報保全派遣隊

広報班の紹介

広報班では航空自衛隊や小松基地について、皆様にもっと身近に感じていただけるよう公式ホームページやSNSで、訓練の様子やイベント情報、隊員の活躍など小松基地の“今”をお届けしています。この機会にフォロワーになって私たちと一緒に小松基地の魅力を感じてみませんか？

イベント情報や活動内容などを発信しています。

ホームページ　X　instagram

第6航空団飛行群

1等空尉

第306飛行隊

大木 啓輔 31歳

職　　名　操縦
採用種目　一般幹部候補生(飛行要員)
出　　身　神奈川県(慶応義塾大学)

国家公務員を目指して就活をしていたところ、ニュースでスクランブル発進する空自パイロットの特集を見る機会があり、その姿に感銘を受けて入隊を決意しました。以降は操縦士になるための試験や数々の訓練をこなし、現在も操縦技量の向上に努めております。日本の領空侵犯を阻止するという業務上、飛行シミュレーションの実施を優先しがちですが、幹部としての業務推進に向けて日々課題と向き合っております。多岐にわたる任務や後輩育成で苦労する一方、2024年1月1日に発生した能登半島地震で捜索任務を全うできたときは、この仕事を選んで本当に良かったと感じたものです。将来は開発業務に携わる道も視野に入れて、技能・経験を積み重ねたいと思います。

第6航空団整備補給群

3等空曹

第1整備隊

阿部 泰直 25歳

職　　名　整備小隊員(航空機整備員)
採用種目　一般空曹候補生
出　　身　大阪府(早稲田大阪高等学校)

幼少期に山口県に住んでおり、岩国基地で開催される航空祭によく足を運んでいました。パイロットの姿に感銘を受け、自然な流れで入隊をすることに。現在は航空機整備員として戦闘機の整備を行っています。直接戦闘機に触れられ、私が整備した戦闘機が無事に飛ぶ姿を見届けたとき、とてもやりがいを感じています。また、英語の説明書を解読する必要があり、英語学習も同時並行で行うのは非常に大変ですが、航空機整備では必要不可欠な要素です。その代わりに、国外訓練という素晴らしい経験を積むことができます。これらの経験をコツコツ積み重ね、将来は夢のパイロットになれるよう精進します。同時に他国との交流を深め、多角的な視点を持った自衛官を目指します。

3等空尉

第2整備隊

笠島 航 33歳

職　　名　第1小隊長(航空機整備幹部)
採用種目　一般空曹候補生
出　　身　北海道(帯広三条高校)

自衛隊に関心のなかった私が興味を持つきっかけになったのは、広報官との出会いでした。数ある職種の中に「航空機整備」があることを知り、心惹かれて入隊することを決意。そこから戦闘機のエンジン整備に携わり、2025年に幹部となりました。これまでは戦闘機の一部とじっくり向き合っていたのに対して、幹部は数多くの航空機整備作業を見通した上で計画を立てます。上司の作業を目の当たりにしていたものの、携わってみるとその業務の多さに驚愕。しかし空曹時代に培った現場作業は、現在の業務に非常に役立っていると感じております。現在の目標は、物事を俯瞰的に見る能力を高めること。現場にもなるべく足を運び、今後も戦闘機と深く関わり続けたいと思います。

空士長

修理隊
愛甲 玲莉 24歳

職　　名　工作小隊(工作員)
採用種目　一般空曹候補生
出　　身　鹿児島県(鹿児島実業高校)

私が所属する部隊の仕事は、主に戦闘機の訓練中に破損したパーツを修理すること。亀裂部に当て板をしたり、剥げ落ちたパネルを塗装するなど、機体全体の修理を行います。さらに修理に使用する道具を製作することも。作業内容が広範囲なこともあり、覚えることはもちろん、高度な技量が求められます。最初は作業の多さに戸惑いましたが、手作業が好きなこともあって、今は日々楽しく業務に従事しております。実は入隊したきっかけは、海上自衛官だった父が言った「航空自衛官なら英語を使う職務に就ける」という発言でした。その言葉通り、海外の軍の方々と交流することで夢を叶えることもできました。次の目標は、海外訓練に参加することです。技術鍛錬と英語力の向上に励みます。

3等空曹

車両器材隊
田島 優 30歳

職　　名　器材小隊員(動力器材整備)
採用種目　一般空曹候補生
出　　身　福岡県(福岡県立福島高校)

私が所属する部隊は、航空機に電源を供給する電源車や航空機で使用する器材の整備を行います。現場作業だけでなく、整備計画や関係部署との調整を行うのも業務の一環です。さらに海外訓練で飛来する航空機を整備することもあるため、英語でコミュニケーションが必要になる場面もあります。１つの仕事でも業務内容が幅広く、時には落ち込んでしまうことも。そんな状況でも、先輩や同期の励ましで、幾度となく壁を乗り越えてきました。学生時代は事務系の公務員を目指していたのですが、自衛隊には多くの職種があり、自分に見合った職務を見出せると知って入隊しました。働いてみて、まさに言葉通りだったことを実感しております。今後も切磋琢磨しながら定年まで勤務するつもりです。

空士長

補給隊
髙木 直仁 26歳

職　　名　燃料小隊(燃料員)
採用種目　自衛官候補生
出　　身　東京都(ホンダテクニカルカレッジ関東)

高校を卒業してから、一度は車関連の職を目指して専門の学校へ入学しました。その一方で、幼い頃から大好きだった自衛隊の航空機のことが忘れられず、卒業と同時に入隊することを決意。現在は燃料特技員として、燃料給油車（タンクローリー）を運転して航空機への燃料補給や車両用のガソリン補給、その他各種燃料の管理・供給を行っています。好きを仕事にできる喜びを味わいつつ、ときには災害派遣などで国防を担う一員としての職責を全うする場面もあります。そうした経験を通じて、体力だけでなく精神力も鍛えられ、いかなる状況でも冷静に判断できるようになったと感じています。今後も大好きな仲間たちと一緒に部隊全体の底上げに精一杯努めます。

第6航空団司令部

3等空曹

人事部 人事班
植原 結衣那 21歳

職　　名　人事
採用種目　一般空曹候補生
出　　身　静岡県(常葉大学付属菊川高等学校)

東日本大震災で人命救助に尽力する自衛官の姿に感銘を受け、入隊を決めました。自衛官は体力を駆使する業務だけでなく、陰でサポートする職務が多岐にわたることを知り、その中から人事を選択しました。業務内容は、民間企業でも行われる採用、給与や福利厚生の支給のほかに、各地方協力本部から依頼されて募集広報を行うことも。その際には募集対象者を小松基地に案内し、自衛隊をより身近な存在として感じてもらうように最善を尽くします。日頃の業務も充実していますが、福利厚生が手厚い点も魅力の１つ。特に女性の場合、出産後も段階的な復帰ができるようになっています。今後も多くの自衛官が長く勤められるよう、人事業務を通して理想的な環境づくりに努めます。

第6航空団基地業務群

3等空曹

第6基地防空隊 整備小隊
野口 尚央 22歳

職　　名　基地防空機械整備
採用種目　一般空曹候補生
出　　身　鹿児島県(錦江湾高等学校)

部隊としての主な任務は、低空域から侵攻してくる敵機に対して地上から誘導弾を用いて対処すること。私は器材の点検や整備を担当しています。器材は部品確認に加え、実際に動作させて確認をします。外部整備が必要な際にはアポイントの調整なども行います。叔父が自衛官だった影響で、幼い頃から戦闘機などに興味があったため、これらに携われる職務で充実した日々を過ごしております。また、2024年1月に発生した能登半島の災害で派遣要員として現地で活動をした際には、自衛官としてのやり甲斐を強く感じたものです。ワークライフバランスや整った福利厚生など、豊かな人生を送ることのできる環境で、今後もスキルの習得に向けて学び続けたいと思います。

空士長

衛生隊
千葉 彪雅 23歳

職　　名　衛生
採用種目　自衛官候補生
出　　身　岩手県(国際医療福祉専門学校一関校)

看護師だった母の背中を見て育ち、将来は同じ医療従事者になろうと考えていました。その中でも興味を持ったのが救急救命士。そして「自衛官として救急救命士になる道もある」と考え、今に至ります。現在の職務内容は大きく分けて４つ。１つ目は隊員の健康管理や予防医療のサポート。２つ目は診療・応急処置。３つ目はパイロットなどの航空業務に従事する隊員の健康管理（航空身体検査）。そして４つ目が隊員への応急手当・衛生教育です。隊員の命と健康に直結している業務であることを日々実感しており、特に仲間から「衛生がいるから安心」と言われると、大きなやり甲斐を感じます。ここで得た知識や経験を高め、隊員だけでなく国民の命を守れる存在になりたいです。

自衛隊石川地方協力本部

自衛隊石川地方協力本部は、日本３名園の１つ「兼六園」や「金沢城」で有名な金沢市に本部を構え、七尾、能登、小松、金沢地区の計４カ所に地域事務所や募集案内所を展開し、自衛隊の任務・活動の理解や自衛官等の募集等のため、防衛省・自衛隊と地域の皆様との懸け橋となるべく様々な活動を行っております。

また、石川県には陸上自衛隊金沢駐屯地、航空自衛隊小松基地及び輪島分屯基地が所在しており、これらの部隊と連携し、地域に密着した活動等を行っております。

石川地本広報キャラクターとして、加賀百万石の初代藩主で知られる前田利家公をモチーフにした愛嬌あふれる「としぼう」が就任し、様々な場面で広報活動を行っています。

イベント情報や活動の様子は公式ホームページやSNSにて随時更新しておりますので、フォロー等よろしくお願いします。

サテライトブースでの募集広報活動の様子

石川地本公式キャラクター「としぼう」

「金沢百万石まつり」での音楽パレードの様子

イベントでの広報活動の様子

DATA

自衛隊石川地方協力本部

■ 住所　石川県金沢市新神田４丁目3-10
　　金沢新神田合同庁舎３階

■ 電話　076-291-6214

■ HP　■ X　■ Instagram

広報官の声

1等陸曹 **松崎 裕** 44歳

『The 広報官』

みなさん、はじめまして自衛隊石川地方協力本部小松地域事務所で広報官勤務４年目の松崎と申します。よろしくお願いします。

私たち広報官は自衛官の仕事や魅力を少しでも分かりやすく、そして興味を持ってもらえるように日々募集活動や広報活動に勤しんでいます。

私が思う自衛官の魅力は、収入が安定していてワークライフバランスも充実、遠方勤務であっても長期休暇等を利用して帰省や旅行をするなど充分に私生活が楽しめるところです。そして国家公務員として国防や災害派遣等の任務を通じ、安心安全な生活を責任感を持って守り支えられるところです。

私が担当する地域には「イオンモール新小松」がありますが、平素から大変ご理解、ご協力を頂き、昨年度の陸海空自衛隊サマー・フレンドシップキャンペーン（サマキャン）では２Ｆ店舗をお借りし、誰でも立ち寄り、見て、感じることができる「自衛隊ＰＲ－ｒｏｏｍ」を約3ケ月間設置することができました。ここでの広報活動により、地域の多くの方々に自衛隊の魅力などを伝えることができたと思っています。

自衛隊への入隊を悩んでいる方や目指そうと考えてる方はもちろん、少しでも興味を持っている方はぜひお近くの地方協力本部の広報官に相談してみてください。多種多様な視点からみなさんの不安や疑問を解消し、安心して入隊するためのお手伝いをさせていただきます。